**校務支援システムの活用**

**～校長会・教頭会と連携した業務改善～**

**徳島支部：小松島市新開小学校**

**事務室長　尾山　美由紀**

**【背景と目標】**

徳島県では令和３年度に校務支援システムが一斉に導入されました。しかし、自治体ごとの環境の差もありまだまだ活用状況は平準化されていません。本市でも児童生徒に関する学籍に関する業務は進んでいますが、行事予定や服務管理に関する業務については役割分担が明確化されておらず、職員個人の意識に任されたままになっています。

また、これまで慣例的に紙の出勤簿に押印しています。年度末の人事異動で多忙な時期に新組織の出勤簿作成は事務職員にとって非常に大きな負担となっています。

そこで、出退勤システムを活用し押印と作成の手間を省くため、紙の出勤簿の廃止することにより業務改善できると考え、取り組むことにしました。

**【協働・取組】**

　今年度、人事異動で紙出勤簿を廃止し出退勤システムでの服務管理を実践した教頭が転入しました。行事予定等も一括管理をしています。４月には徳島県教育委員会から「出退勤の適正な入力の徹底」とグループウェアの掲示板に一斉配信されました。そこで、次の手順で勤務時間の把握と業務改善に取り組むことにしました。

１　市内事務職員の紙出勤簿の活用状況及び廃止に向けての意見徴収

２　県内の紙出勤簿の使用状況調査

３　本校教頭を講師として校務支援システムの活用方法について事務グループで研修

４　小学校と中学校の係校長それぞれへ説明

５　係校長から校長会へ出退勤システムへの移行について提案があり、了承が得られたので地教委へ提案

６　教頭会で地教委から出退勤システムへの移行について報告

７　教頭会と事務職員合同で校務支援システムについて研修実施

８　各校で職員への周知

９　10月から出退勤システムの運用

**【成果と課題】**

　校長会や地教委への提案はスムーズに終わりました。まだ実践途中で教頭会との合同研修会は実施できていません。これまで私が本市に在籍する９年間で合同研修会は開催されていないので、今回実施されれば、組織としての協働の第１歩ではないかと思います。今後、他の協議内容にも発展、また、その他の組織との協働が実践できるよう取り組んでいきたいです。

今回の紙出勤簿の廃止について、９月の開始前と11月の開始後、1月頃に教頭、事務職員、その他教職員にアンケートを実施して意見を回収する予定です。

**【教訓】**